
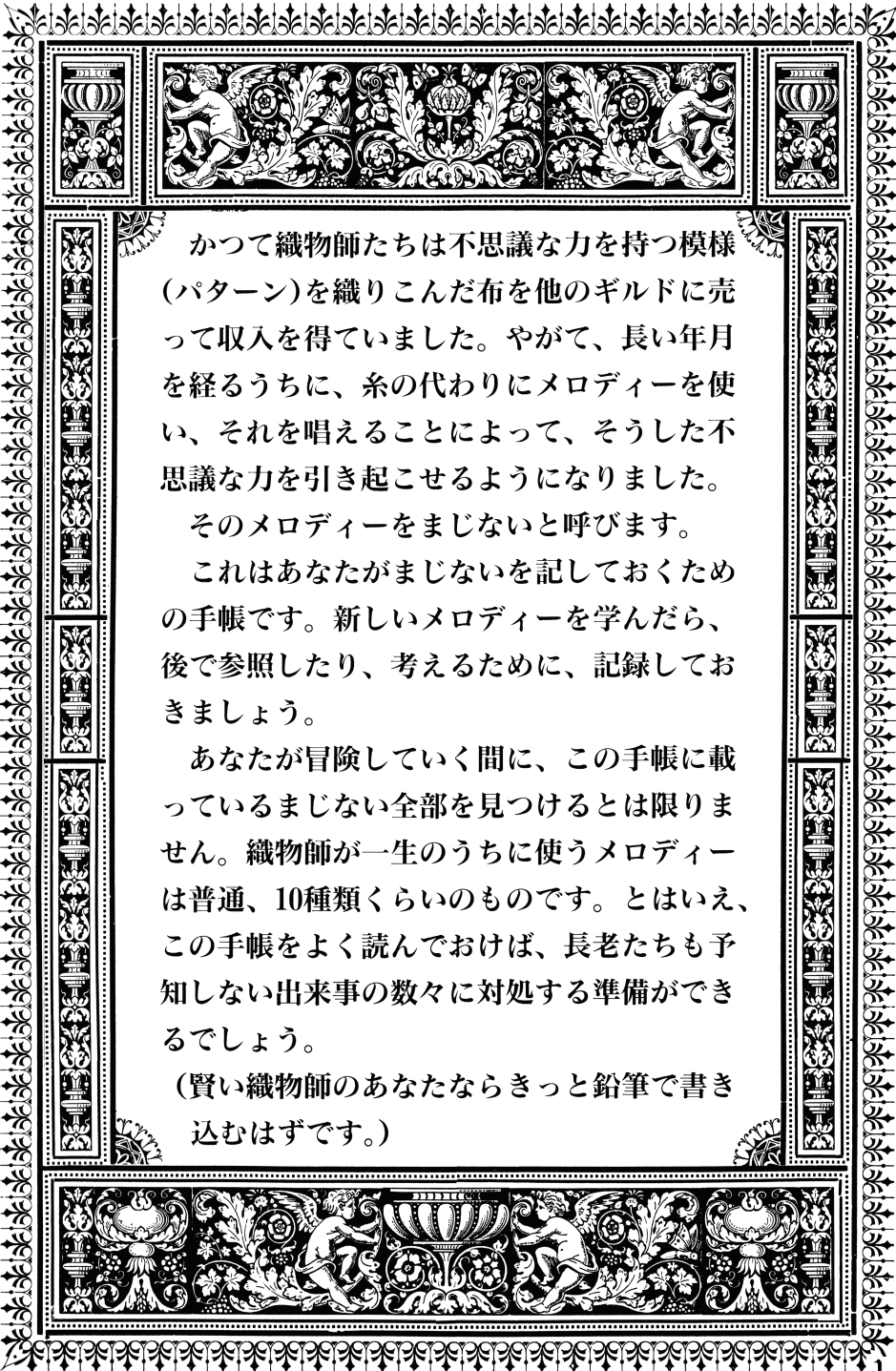


まじないの本






かつて織物師たちは不思議な力を持つ模様（パターン）を織りこんだ布を他のギルドに売って収入を得ていました。やがて、長い年月を経るうちに、糸の代わりにメロディーを使い、それを唱えることによって、そうした不思議な力を引き起こせるようになりました。

そのメロディーをまじないと呼びます。

これはあなたがまじないを記しておくための手帳です。新しいメロディーを学んだら、後で参照したり、考えるために、記録しておきましょう。

あなたが冒険していく間に、この手帳に載っているまじない全部を見つけるとは限りません。織物師が一生のうちに使うメロディーは普通、10種類くらいのもので、とはいえ、この手帳をよく読んでおけば、長老たちも予知しない出来事の数々に対処する準備ができるでしょう。

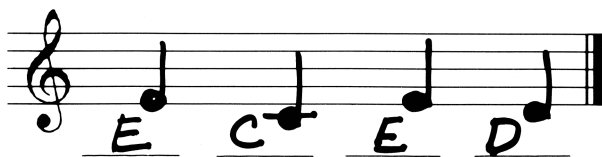
（賢い織物師のあなたならきっと鉛筆で書き込むはずです。）





## 開ける

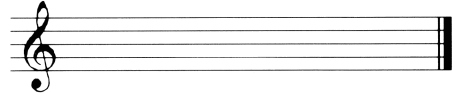
このまじないは織物師たちが代々、一番初めに習得してきた最も基本的なものです。マスターすれば、防水布や劇場の幕などいろいろな覆いを払いのけることができるでしょう。





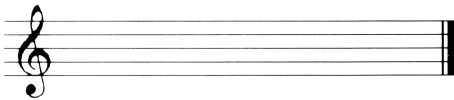
## 染める

このまじないを完成したのは、ウーンソケット総会の染料調合師たちです。いろいろな色の装束を好んだ聖職者たちの強い要望をかなえるため、彼らは煮えたぎった鍋に何時間もかかりきりになって奴隷のように働いていました。かつてはあらゆる種類の布に“染める”のまじないをかけることができましたが、この何世紀かの中に適用できる種類がどんどん減りました。現在はウールのみ使用できます。



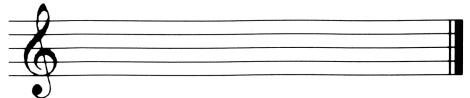
## 召喚する

ギルドのメンバーを聖域に呼び寄せるときに使用します。主に長老が扱うまじないですが、使用されたことはほとんどありません。このまじないはかけられた相手によって、感知する方法は様々ですが、童話に出てくる“妖精のメッセンジャー”のような小さな光る球形のものが目に見えることが多いようです。



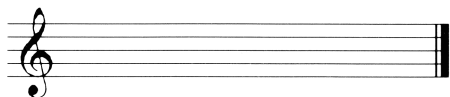
## 言葉を理解させる

“言葉を理解させる”の布が最初に使用されたのは、7610年にエルストリーで開かれた第432回ギルド間秘密会議の夕食会の席上のランチョンマットが最初でした。それによって、初めて、各ギルドの代表者たちが互いの言葉を理解できるようになりました。この画期的な発明は多くの人に称賛されていましたが、葬儀屋ギルドが花屋ギルドに対して無礼な言葉を発したのが、当人たちに聞こえてしまい、両者は500年間の血で血を洗う戦争に突入するという大変な結果となりました。



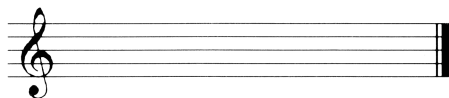
## わらを金貨に変える

不作の年に特別の収入を生み出すため、長老たちが使用するまじないです。使用に関しては、インフレを避けるために、ギルドの財政部が厳しい規制を敷いています。他のギルドの連中は、織物師たちの技術が進化を遂げた結果、まじないを唱えるだけで不思議な力を使えるようになったという事実に無理解で、この割と初歩的なまじないも含めた織物師たちの技術に関し、奇怪のおとぎ話をいろいろとでっち上げて迫害を加えています。



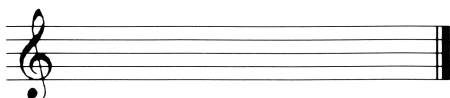
## 引き裂く

この罪のないまじないが、これ程悪用されることになろうとは、発明者はおそらく想像だにできなかったことでしょう。かつてはミイラ造りのギルドがぼろきれを引きちぎって細長い包帯を作る目的で、このまじないをライセンス契約していました。しかし6529年にミイラ作りギルドは解散、この権利を欲しがるギルド間に法的な争いが起こりましたが、結局勝ったのは、書類を引き裂くことを仕事にしている政治家ギルドでした。ところが、無節操な某ギルドは、他のギルドにこのまじないの秘密を漏らしてしまい、巡り巡ってこの秘密を知った暗殺者ギルドの連中が、ここに記すものはばかられるほど恐ろしい目的に“引き裂く”のまじないを使用するに至りました。



## 地震を起こす

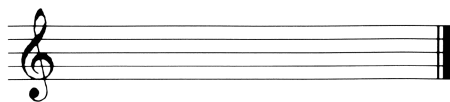
一人のむこうみずな(そして今は亡き)織物師が休火山と思われていた山に、“引き裂く”のまじないをかけたところ、たまたま発見したのが、この“地震を起こす”のまじないです。地震学者のギルドはこのまじないの権利を報効に欲しがりましたが、非常に危険なものであるため、今では参考してここに記しておくのみです。ギルドは7331年にこのまじないの使用を禁じています。





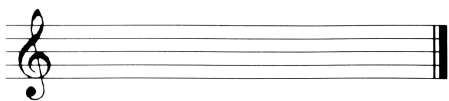
## 暗闇で物を見る

このまじないの素晴らしく美しいメロディーは、夜行性の鳥たちの歌声が基になっているものと推定されます。かつて“暗闇で物を見る”のまじないは炭坑労働者ギルドに有難がられていました。伝説によれば、地底に国を創っていた彼らは、織物ギルド・マークのついた光を発するタペストリーから、主に明かりを得ていたそうです。しかし、非常に残念なことに、7331年に大地震が起こり、その後は需要が減ってしまいました。



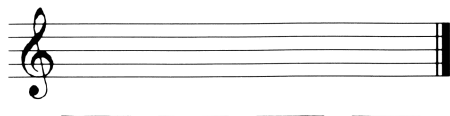
## 治療する

「簡約・織物師ギルドの歴史 第19巻」（ギルト出版、5620年）の中の、第3代長老レージーケートの記録によれば、1716年という遙か昔に早くも“治療する”力を持つ布を、包帯にして巻いていたということです。そしてその後、長年かけて模様の代わりとなる4つの音が選ばれました。今では元気回復が必要なものなら何にでも使えるこのまじないですが、織物師自身が自分の体を治療することだけはできません。



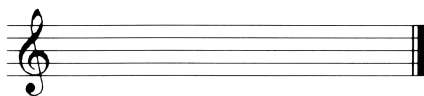
## 縮める

生地は湿気や熱にさらすと縮むものです。この現象を研究した古代の織物師は、布を自然に縮ませてしまう糸を隔離してしまいました。間もなく“縮める”のまじないが生み出され、どんな物質にもこの作用を引き起こすことができるようになりました。しかし使用の際には注意が必要！“縮める”のまじないは一旦かけてしまったら、二度と解くことはできません。



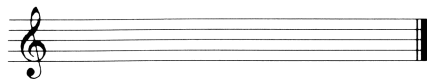
# 欲しがらせる

“欲しがらせる”のまじないの起源は我々の社会が未発達であった頃に逆のほります。その当時は、見ず知らずの通行人をギルドの店に誘い込むために使用していました。動物や人間にこのまじないをかけると、織物師の周囲でメロディーが鳴り、かけられた相手が最も欲しがっているものに織物師は変身します。でもこの幻覚は一瞬にして消えてしまうもので、長引かせることは不可能です。



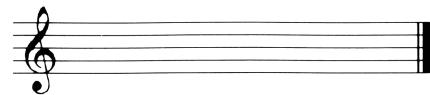
# 防水する

5992年にレサー・アクスブリッジの熱帯雨林に遠征した第5代長老スピンドルシャンクが生み出した、このとても実用的なまじないは、布を防水加工することができます。ところが、6003年に防水布を使ったオーバーシューズは体に害があるという説が湧き起こって大騒ぎになり、“防水する”のまじないは永久に禁止されることとなりました。が、結局この説は傘職人のギルドのでっち上げたものだということが判明し、禁は解かれました。



# 映し出す

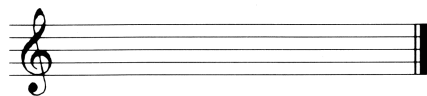
このまじないはダンサーのギルドの依頼で作ったものです。彼らのクラシック・バレエ作品、「オレマ」上演500回記念の舞台上でコスチュームの着替えを手早くすませることに使用されました。正式に採用が決まると、まじないをかけたり、解いたりすることによって、織物師はダンサーの格好をあっという間に別の姿に映し出しました。4つの音はカメレオンが交尾する時にうなるように鳴く声から採用したものです。





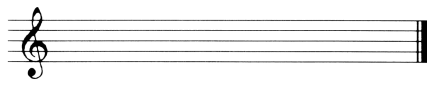
## 怖がらせる

このまじないをかけられると、織物師はその人が潜在的に恐怖を抱いているものの姿に、変わります。つまり、受け手が最も恐れているものに変身することができるのです。これは感受性の強い生き物にしか効きませんが、実はこのまじないに隠されたパワーは、幻覚を引き起こす以上のことができるのです。しかし現在は、心理療法師のギルドが治療に使用するだけに限られています。



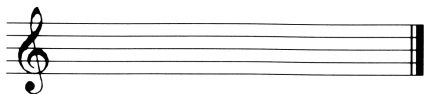
## 折りたたむ

考古学者の資料に基づけば、“折りたたむ”のまじないは、もともとは空間を折りたたむために作られたのではないようです。このまじないの発明者はどうやらクリーニング店を営もうと思っていたらしいのです！今までは織物師が場所から場所へと移動するのにこれほど手早く快適な方法はありません。でも、他の織物師がすでに折りたたんだ空間の一部に、このまじないをかける時は注意すること。不注意にまじないをかけると、ゲーンズボロのブラインド・スポットのよう誰も住むことのできない「しわのゾーン」ができてしまいます。



## 見えなくする

“見えなくする”のまじないを一人あるいは複数の人にかけて、その人達の視覚の焦点をぼんやりさせて、織物師の姿をほとんど見えなくすることができます。このまじないの由来ははっきりしていませんが、(いかがわしい状況下で) 忍びの術にかけた羊飼いのギルドから知恵を得たものと思われる。

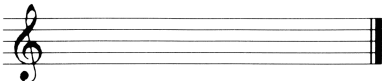






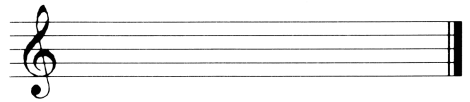
## ねじる

古代から存在したこのまじないの起源は、歴史の中に埋没してしまいました。最も古い文献では、このまじないは聖域にあるタバストリーの緑の部分でねじるのに使われていたということです。他には手作業で亜麻ヤーンをうまくねじって、糸を紡ぐのに使用されていました。初代長老スウェルフラックスが布を織ったときに、スピンドルがきしんで鳴ったリズムミカルな4音が基になっているといわれています。



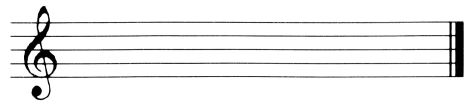
## 混乱させる

この奇妙なまじないが生み出された理由は長い年月のうちに分からなくなってしまいました。歴史を再検討している学者たちは、このまじないの本来の目的は、ギルドの店のバーゲンに来る客の心を惑わす安い布を紡ぐことにあったと主張しています。その起源が何であれ、“混乱させる”のまじないに潜む力は時を経ても少しも衰えていません。これをかけられた相手は、織物師の安全が確保されるまでの間、どうしようもないほど混乱させられてしまいます。



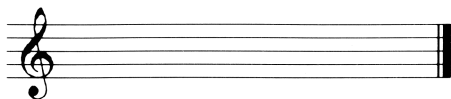
## 形を変える

物質の形を変えるのに必要な集中力を持っているのは、ほんの一握りの織物師だけです。このまじないをかけるには、全身経を集中させねばなりません。形がうまく変わった後でも、まじないを定期的にかけないと元の状態にもどってしまうことがあります。



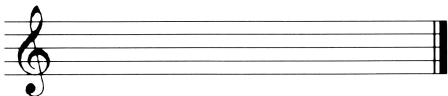
# 暖める

“暖める”のまじないはとても心地のいいあたたかなメロディーです。織物師の中でこのメロディーに包まれたことのない者は一人もいないでしょう。人気の点では“愛を与える”のまじないについて2番目（この2つのまじないはよくセットで売られます）。我がギルドの歴史からいっても、重要な商品です。ひとたびこのまじないをかけただけで薄いガーゼのベッドカバーがペナンブリアン・キルトのような暖かい布に変わります。



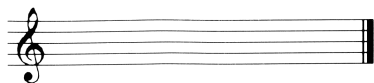
# 愛を与える

この力を持つ布がベストセラー商品となったおかげで、織物師ギルドはあっという間に繁栄し、勢力を誇るようになりました。“愛を与える”のまじないをかければ、愛にまったく無関心な人の心もとろけてしまうこと請け合い。でも、このまじないの真の由来を知ることが許されているのは長老たちだけです。これに関連して、第2代長老トゥイルファストとオルガン奏者ギルドの一員との秘められた恋が噂となったことがありますが、あれは根も葉もない悪意ある中傷です。



# 眠らせる

枕や赤ちゃん用の帽子、寝袋は、大人気のこのまじないが持つ、心を鎮静させる性質が必ずしみ込ませてあります。乳母ギルドは家庭用の布製品全般にこのまじないの使用を要請していますし、麻酔医ギルドはクロロフォルムに変わるものとして、産業用のもっと強いまじないを承認しています。



# 静かにさせる

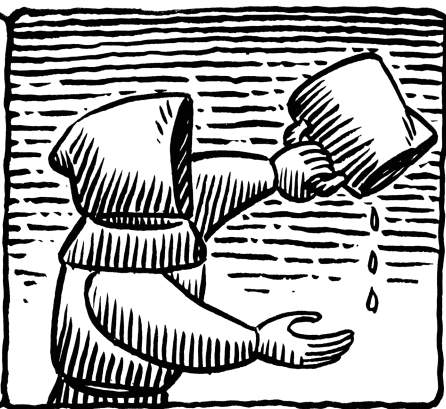
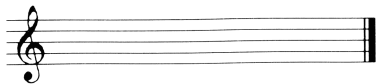
“静かにさせる”のまじないは、初めて親となった人達や大学の寮生に、これさえあれば安心、と大人気。ところが残念なことに、我がギルドのメンバーたちは、使用するに適正か否か疑わしい依頼にも度々応じて、このまじないのメロディーを唱えています。コンサート開始前、聴衆に対してこの“静かにさせる”のま

じないをかけることを頻繁に要請してくる指揮者のギルドが最も悪辣な利用者です。



## カラにする

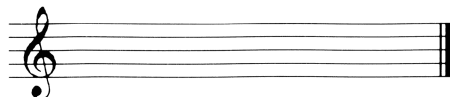
どんな容器でも、この簡単なまじないをかけるだけで、あっという間に内容物を取り除いて、カラにすることができます。4200年にこのまじないが発明される前には、ウーンソケットの小川が廃棄された染料で緑色になってしまった事件もありました。湖や雲にこのまじないをかけようなどと考えるはいけません。4202年に起こった「第2のノアの洪水」のような、大きな災害が発生するのを防止するため、このまじないの使用は慎重に限定されているのです。(この大洪水に関しては、ギルドに責任はないという決着がついています)



## 破壊する

物質を破壊するというのはまったく劇的な能力ですが、これらを身につけるまでの我慢ができない若い織物師が多いのです。熟練した織物師なら大体この快活なメロディーのまじないを使用することができます。しかし誰にでも理解できる簡単なものというわけではありません。そうしたことが幸いして、“破壊する”のまじないが持つ驚異のパワーは、軍隊に

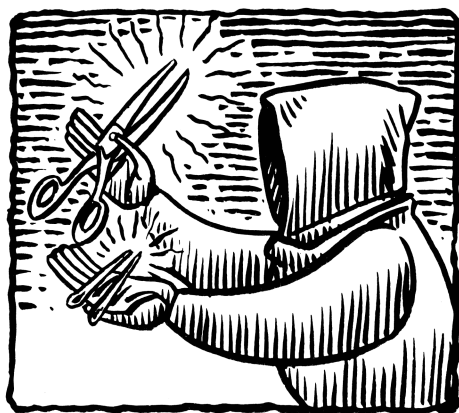
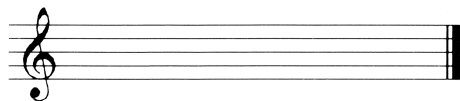
はまったく利用されていません。そういう意味では、このまじないのデモンストレーションを要請されることが二度とないことを我々は望んでいます。



# 消す

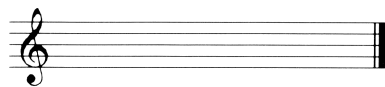
“消す”のまじないをかければ、簡単に炎を消火することができます。酸素や燃える物質の糸をほぼ瞬間的に解くので、大火災でも二次災害や煙はまず発生しません。622年には、このまじないの安全性と消火能力の向上が認められ、消防士

ギルドから感謝のしるしとして記念プレートが贈られました。



## 尖らせる

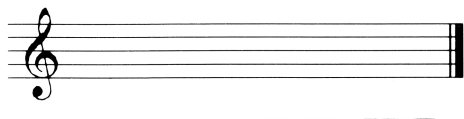
ハサミや針や編み針はこの簡単なまじないをかければ研ぐことができます。古代には、戦士たちの剣も我々のギルドで修理していました。しかし、鍛冶屋ギルドから正式な異議申し立てが起こり、その結果、7550年にウェットストーン・ブリッジ条約が結ばれました。これに基づき、戦争に使用される武器に“尖らせる”のまじないをかけることは特に禁止されています。



## 恵みを与える

別名「カジノの破滅のもと」とも呼ばれるまじない。このまじないをかけたものは当たりの確率が高くなり、素人にも「つき」がきます。それで、このまじないはギルドの外での使用は、5858年に設定されたエメリック合意によって禁じられています。この合意を結んだ時に、我

々のギルドの財政部は統計学者ギルドから十分な額の寄付をもらいました。





## 超越させる

実際のところ、このまじないをうまく使用できる織物師は数人しかいません。それほど、我々織物師の技芸の中でも最高に微妙で神秘的な技なのです。“超越させる”のまじないは我々の運命を操るパターンとのつながりを解いて、定められた運命から身をとぎ放ち、心と体に活気をもたらし、現世の理解を越えた、超越した存在に高めます。超越した存在とは鳥や星座や太陽の黒点のような姿をと

るとわれています。体罰が禁じられている我々のギルドでは、このまじないを使って人を追放することがありますが、それはギルドの掟に対して最も許し難い違反を犯した者にのみ適用される罰です。

